

## 検討議題（案2）「スポーツの楽しさを伝え実施率を向上させる取組」

### 【第1回審議会における関係意見】

- ・運動が大切と思ってもなかなかできない方を巻き込んでいけるか（富田会長）
- ・観光における徒歩など軽い身体活動も含めたスポーツの定義や位置づけ（杉山康委員）
- ・大会のリーグ戦化等、それぞれのレベルに応じ切磋琢磨できる環境の整備（山本委員）
- ・女性限定イベントによる女性のスポーツ参加の促進（沖委員）
- ・小中学生の昼休みにおける運動の促進（河合委員）
- ・親から子へ運動の楽しさを伝える取組（岩水、杉山克委員）
- ・運動嫌いや、運動から遠ざかっていた人たちに楽しさを伝える取組（青野委員）

## 検討議題（案2）「スポーツの楽しさを伝え実施率を向上させる取組」

### 【関係する主な既存事業】



### 県民スポーツ・レクリエーション祭

(令和4年度)

- ・ニュースポーツふれあいフェスタ年4回開催（ミニトランポウク等）
- ・種目別大会（31種目：ドッジボール等）
- ・主催：県、静岡県レクリエーション協会主催

### 親子運動あそびプログラム

- （令和4年度）
- ・年間6回予定
- ・静岡県レクリエーション協会委託

### （その他）

- スポーツ振興課 ・レクリエーション指導者派遣事業
- 健康体育課 ・学校体育指導要領

など

## 検討議題（案2）「スポーツの楽しさを伝え実施率を向上させる取組」

### 【県としての課題感】

- ・ これまでも、審議会で同種のテーマで議論を重ね、親子、女性、働き盛り世代などターゲットを定めた取組を実施している。今後は、無関心層をどのように取り込むかの検討が必要である。
- ・ スポーツ実施率の向上には、継続した地道な取組が必要と考えられ、現在、県では、県スポーツ協会や県レクリエーション協会と連携して取り組んでいるが、実施率は、各個人の意思による部分が大きく、即時性のある方策は生み出しにくい。
- ・ 対象が幅広いため県が実施できる取組には限界がある。このため、楽しさを伝えるには、関係団体、指導者、市町等の取組も重要であり、連携を図りたい。
- ・ 実施率の向上には、様々な要因が絡むため、多様な視点での議論が必要である。